

第6学年 ICT活用教育実践事例

外国語科

「Unit6

Let's think about our food.」

～ALTに日本の食事について紹介しよう～

学習のねらい

今年愛媛にやって来たALTに日本の文化についてより知ってもらうために、日本の食事について自分の考えや気持ちを含めて話すことができるようにする。

学習の流れ（本時：7／8）

- ① **Small Talkで今日の朝何を食べたのか尋ね合う。（ペア）**
- ② **英語表現を確かめる。（全体）**
- ③ **評価シートを使いながら発表練習をする。（ペア）**
- ④ **始めに練習し合ったペアに戻り、もう一度発表練習をする。（ペア）**
- ⑤ **本時の振り返りをする。（全体・個人）**

① Small Talkで今日の朝何を食べたのか尋ね合う。

- 単元を通して、食べ物の話題でsmall talkを毎時間行った。会話をうまく続けられるように、反応や質問の表現を書いているヒントカードを使用した。



②英語表現を確かめる。

- 態度、英語表現、内容の3つに分けてそれぞれの工夫について復習をした。

問いかけや自分の気持ちを入れたり、写真を分かりやすく工夫したりすることが大切だったな。



③ 評価シートを使いながら発表練習をする。

- 内容がよく伝わるように、写真、図、文字を入れた発表資料をロイロノート作った。

写真を指差しながら発表する
といいのか。



④初めに練習し合ったペアに戻り、もう一度発表練習をする。

- 初めと最後に、発表練習の様子をタブレットで録画し、自分自身の変容を見ることで、改善してよくなった点に気付き、自信をもてるようにした。

アドバイスしてもらったことに気を付けると、初めよりも上手になっていると褒めてもらえた！



⑤ 本時の振り返りをする。



相手の目を見るためには、英語を覚えることが大切だと思いました。はきはき言えていると言ってもらえたので本番でもがんばりたいです。

成果

- A L Tに日本の料理について紹介するという言語活動の設定が、児童の意欲につながった。
- 評価の観点を明確にした評価シートを用いて相互に評価することで、個人の変容が見られ、意欲や自信につながった。
- 1回目と4回目の練習をタブレットで撮影することで、自己の変容を可視化できた。
- 友達からのアドバイスを本番の発表に生かすことのできた児童が多かった。
- ICTを活用することで、タブレットで撮影した児童のスピーチを教師が一人ずつ確認することができ、個に応じた声掛けやアドバイスを行うことができた。

課題

○発表原稿を覚えようとしている児童が多かったなので既習表現とタブレットの画像のみを上手く組み合わせて発表できるように、指導を行うとよかった。

○伝えたい内容と語彙力に差があった。既習表現に言い換えをしたり、絵やジェスチャーを用いたりするなどの指導の工夫があるとよかった。

○態度面でのアドバイスをするペアが多かった。内容面で評価ができるとよかった。

○自分自身で動画を見返したり、ペアでアドバイスを伝え合ったりする時間をより長くとれるとよかった。